

国際生物多様性年(International Year of Biodiversity)について

<経緯>

2006年の生物多様性条約第8回締約国会議の勧告に従い、同年12月の第61回国連総会において、2010年を国際生物多様性年と宣言すると共に、生物多様性条約事務局を国際生物多様性年の担当窓口として特定(決議61/203)。

<目的>

条約の3つの目的(①生物の多様性の保全、②生物多様性の構成要素の持続可能な利用、③遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分)及び生物多様性の2010年目標※を達成するための認識を高めること。

※「現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という目標

全ての締約国は、経済界、学術界等多様な分野の代表者を含む国家的な委員会を設置し、国際生物多様性年の式典を挙行することが奨励されている。

○国際年(International Year)とは、国連総会において採択・決議されるもの。特定の事項に関して、国連をはじめ全世界の団体・個人に対し、重点的な問題解決を呼びかける期間のこと。

<参考>主要記念イベントスケジュール

1. 国内

2010年1月16日	COP10 支援実行委員会主催 国際生物多様性年オープニング記念行事(名古屋)
1月25日	国際生物多様性年国内委員会「第1回地球生きもの委員会」及び地球いきもの応援団行事(東京)
5月	国際生物多様性の日(5月22日)記念行事
10月11日～15日	カルタヘナ議定書第5回締約国会議(名古屋市)
10月18日～29日	生物多様性条約第10回締約国会議(名古屋市)
12月未定	国際生物多様性年クロージングイベント(石川県)

2. 海外

2010年1月11日	国際生物多様性年キックオフイベント(ベルリン)
1月21～22日	ユネスコ主催 国際生物多様性年オープニング記念行事(パリ)
5月22日	「国際生物多様性の日」記念行事 国連(ニューヨーク)
9月	第65回国連総会 生物多様性に関するハイレベル会合(ニューヨーク)

(国際年の例)

2009年:世界天文年、国際天然繊維年、国際和解年

2010年:国際生物多様性年、文化の和解のための国際年、国際ユース年

2011年:国際森林年